8

抗議事件關係資料第八號

（條約局第二課調）

空襲參加米國飛行士處刑關係文書

終戰連絡中央事務局

軍務課寫

1916

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

目次

一、昭和十七年十月七日附來翰……1
二、昭和十七年十月十九日附大本營陸軍報道部長談及防衛總司令部布告……2
三、昭和十七年十月二十九日附來翰……3
四、昭和十七年十一月二十八日附來翰……4
五、昭和十七年十二月二十三日附來翰……5
六、昭和十八年二月十七日附往翰……6
七、昭和十八年三月三日附來翰……9
八、昭和十八年三月十五日附往翰……15
九、昭和十八年四月二十二日附來翰……16
十、昭和十八年九月八日附來翰……17

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

一、昭和十七年十月七日附在京瑞西公使來翰

今般在上海瑞西國總領事館ヨリ次ノ如ク通報アリタリ

「瑞西國政府ヨリノ訓電ニ基キ本總領事館ニ於テハ在支日本軍ニ捕虜トセラレ上海ニ於テ抑留セラレ居ル八名ノ米國飛行士ノ氏名並ニ安否ニ付在上海日本總領事館ニ調査方依頼シ於ケリ（中略）

右ニ對シ日本總領事館ヨリハ本總領事館ニ對シ日本軍當局ハ前記米國人飛行士ニ付テハ何等承知セザル旨（中略）回答アリタリ」

仍テ本國政府ヨリノ問合ニ對シ帝國政府ヨリ情報ヲ得度キ旨申請ス

二、昭和十七年十月十九日附大本營陸軍報道部長談及防衛總司令官布告

大本營陸軍報道部長談

去ル四月十八日帝國本土ヲ空襲シ我方ニ捕ヘラレタル米國機搭乗者中取調ノ結果人道ヲ無視シタル者ハ今般軍律ニ照シ嚴重處分セラレタリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

布告

大日本帝國領土ヲ空襲シ我ガ權内ニ入レル敵航空機搭乘員ニシテ暴虐非道ノ行爲アリタル者ハ軍律會議ニ附シ死又ハ重罰ニ處ス

滿洲國又ハ我ガ作戰地域ヲ空襲シ我ガ權内ニ入リタル者亦同シ

昭和十七年十月十九日

防衛總司令官

1919

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

三 昭和十七年十月二十九日附在京瑞西國公使來翰

米國政府ハ日本放送局ヨリノ報道トシテ日本政府當局ガ米國人俘虜ヲ其ノ參加セル軍事行動ヲ理由トシテ軍法會議ニ召喚シ、死刑ニ迄モ及フ重刑ヲ科セントシ居ル旨ヲ承知セル趣ヲ以テ左ノ二點ニ關スル出來ル限リ詳細ニ亘ル報告ヲ要求ス

(一)米國人兵士ニ對シ刑ヲ科スルニ至リタルハ如何ナル具体的事實ニ由ルモノナリヤ

(二)日本政府ハ千九百二十九年七月二十七日ノ俘虜條約ヲ適用スヘシトノ義ノ約束ニ基キ同條約第八十六條ニ依リ瑞西國代表ニ對シ前記俘虜ヲ訪問スルコトヲ許可シタルヤ

米國政府ハ前二項ノ質問ニ對スル報告ヲ至急入手シ度ク切望致居候

四 昭和十七年十一月二十八日附在京瑞西公使來翰

米國政府ハ處罰セラレタル飛行士ノ姓名、各飛行士ノ處罰ノ理由タリシ事實竝ニ其處刑ノ何ナルカヲ承知シ度ク希望ス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

五、昭和十七年十二月二十三日附在京瑞西國公使來翰

米國政府ハ香港及東京ニ對スル攻撃ノ後俘虜トナリタル米國人飛行士ノ消息ニ關シ極メテ憂慮シ居ル旨瑞西國代表者及赤十字國際委員會ノ代表者ガ右俘虜ヲ訪問スル許可ヲ得ルコト並ニ右俘虜ガ收容所ニ收容セラレアリテ普通法ノ犯罪人ノ爲使用セラルヘキ場所ニ拘禁セラレ居ラサルコトヲ強ク期待シ居ル旨米國政府ハ特ニ八名ノ飛行士ガ五月以來上海ノ「　　ハウス」ノ警察本部ニ抑留セラレ居ルコト、「フアロウ」（Fallow）ト稱スル者以外ハ米國政府ハ右俘虜ガ何人ナルヤヲ知リ居ラサルモ中尉四名、海軍將校二名、給養下士一名、伍長一名ナルヘシト思考シ居ルコト、十月末四名ノ他ノ米人飛行士ガ廣東ニ送ラレタルモノノ如キモ其ノ姓名モ亦米國政府ニ通報セラレサリシ次第等ヲ述ヘ東京及香港攻撃ニ參加シ帝國軍ニ依リテ俘虜トセラレタル一切ノ米人飛行士ノ姓名ノ通報ヲ求ム。

六、昭和十八年二月十七日附在京瑞西國公使宛往翰

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

以書翰啓上致候陳者客年十月二十九日附貴翰（cc、1、2、25、ca1）及十一月二十八日附貴翰（cc、1、3、9、1cr1）ヲ以テ米國政府ガ日本放送局ヨリノ報道トシテ日本政府當局ガ米國人俘虜ヲ其ノ參加セル軍事行動ヲ理由トシテ軍法會議ニ召喚シ死刑ニ迄及フ重刑ヲ課セントシ居ル趣ヲ承知セル旨右刑罰ノ理由及瑞西國代表ノ前記俘虜ノ訪問ヲ許可セルヤ否ヤニ付報告ヲ瑞西國政府ニ要求シタル旨等御通報相成聞悉致候

本件ニ關シ左ノ通回答スルノ光榮ヲ有シ候

「帝國政府ハ帝國領土、滿洲國又ハ帝國軍ノ作戰地ヲ空襲シタル後帝國ノ權内ニ入リタル敵航空機搭乘員ニシテ取調ノ結果暴虐非道ノ行爲ヲ爲シタル者ヲ人道ノ敵トシテ軍律會議ニ附シ嚴重處分セントスルモノニシテ米國政府ノ有スル情報ノ如ク「其ノ參加セル軍事行動ヲ理由トシテ」重罰ヲ課セントスルモノニ非ズ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

帝國政府ノ右ノ措置ハ人道ヲ尊重シ戰爭ノ參禍ヲ最少限ニ止メントスル崇高ナル道義觀ニ立脚セルモノナリ

(ハ) 四月十八日帝國ヲ空襲シタル後帝國權内ニ入リタル米國航空機搭乘員ハ惡意ヲ以テ軍事施設ト遠隔セル病院、學校、民衆等ノ非軍事施設ヲ爆撃燒夷セルガ特ニ惡質ナルハ校庭ニ於テ遊戯中ノ頑是無キ學童ヲ確認シテ故ラニ之ニ機關銃掃射ヲ加ヘ殺傷セル事實ナリ右搭乘員ハ前記ノ事實ヲ陳述スルト共ニ之ヲ當然ノ行爲ナリト主張シテ反省スル所無シ斯ノ如キ者ハ人道ノ敵ニシテ許シ難キ罪人タルハ米國政府ノ了解スルヲナルヘシ帝國政府トシテハ右ノ如キ罪人ヲ俘虜トシテ取扱フコトヲ得ス

(ニ) 右搭乘員ハ軍律會議ニ於ケル取調ノ結果罪狀明白トナリタルヲ以テ軍律ニ照シ死刑ノ判決ヲ受ケタリ尤モ其ノ大部分ニ對シテハ特ニ減罰ヲ行ヒ一部ノ者ノミ死罰ヲ執行セラレタリ

(四) 帝國政府ハ帝國領土、滿洲國又ハ帝國軍ノ作戰地ヲ空襲シタル

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

後帝國ノ權内ニ入レル敵國航空機搭乘員中暴虐非道ノ行爲ヲ行ハサリシ者ハ之ノ俘虜トシテ取扱フ齎響ナリ

七、昭和十八年三月三日附在京瑞西國公使來翰

（譯文）

米國人飛行士ノ殺リタル處罰ニ關スル二月十七日附返還ニ關シ在「ベルヌ」米國公使館ハ本國政府ノ訓令ヲ待チ居ルモ死刑ヲ執行セラレタル飛行士及處罰セラレタル飛行士ノ姓名並ニ同人等ノ受ケタル刑ヲ知リタキ希望ヲ直ニ表明シタル旨及十二月二十三日附瑞西公使來翰ニ於テ米國政府ノ希望ニ依リ本使ノ俘虜訪問又ハ本使代表者ノ俘虜訪問ノ許可ヲ要請シタル處右回答ニ於テハ右ノ點ニ關スル所ナキヲ以テ右ノ要請ニ對スル帝國政府當省ノ見解ヲ承知シ度キ旨ヲ申越ス

若シ日本政府ノ主張スル自白ガ米國人飛行士ニ依リ事實上行ハレタリトセハ右ハ強制ニ依リ作爲セラレタルモノニ外ナラス

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

加之日本政府ハ米國政府トノ取極ニ依リ壽府俘虜條約ノ條項ヲ
守スルノ嚴肅ナル義務ヲ負ヒ居ルモノニシテ同條約第一條ハ海戰
又ハ空戰ニ於テ捕ヘラレタル戰鬪員其他ノ人員ヲ俘虜トシテ取扱
フヘキ旨ヲ規定シ第六十條ハ俘虜ニ對スル裁判手續ノ開始ニ際シ
利益保護國代表ハ裁判ノ少クモ三週間前ニ右ニ關スル通告並ニ裁
判セラルヘキ旨ヲ規定シ第六十一條ハ俘虜ノ駐泊及訴追事項ニ關
スル通告ヲ受クヘキ俘虜ハ其ノ訴ヘラレタル事實ニ對シテ有責ナ
リト自認スル爲強制セラルルコトナカルヘキ旨規定シ第六十二條
ハ被告ハ其ノ選擇スル有資格ノ辯護人ヲ帶同シ且利益保護國代表
ガ審理ニ立會フヘキ旨規定シ第六十五條ハ俘虜ニ對シテ言渡サレ
タル判決ハ直ニ利益保護國ニ通知セラルヘキ旨規定シ第六十六條
ハ俘虜ニ對シテ死刑ノ言渡アルトキハ犯行ノ性質及情狀ニ關スル
詳細ガ俘虜ノ服役シタル軍ノ所屬國ニ移送セラルル爲利益保護國
ニ通知セラルヘキ旨及該判決ハ右通知ヨリ少クモ三月ノ期間滿了

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

前ニ執行セラレサルヘキ旨規定シ居レリ

日本政府ハ其ノ捕獲セル米國人飛行士ノ取扱ニ關シ前記條約ノ何レノ條項ニモ從ハサリシモノナリ米國政府ハ日本政府ニ於テ在京瑞西國公使ニ對シ米國人飛行士ニ對スル訴追事項及判決ヲ通知シ瑞西國代表ニ對シ目下監獄ニ收容セラレ居ル者ノ訪問ヲ許可シ前記飛行士ガ俘虜條約ニ依リ與ヘラレ居ル一切ノ權利ヲ回復セシメ瑞西國公使ニ對シ死刑判決ノ執行セラレタル各飛行士ノ姓名竝ニ其ノ屍体ノ處置又ハ埋葬ノ場所ヲ通知スルコトニ依リ前記條約ノ條項ヲ遵守スヘキ旨ノ最極ヲ實施スル樣重ネテ同政府ニ對シ要求スルモノナリ

若シ前記日本政府ノ通報ニ示サレタル如ク同政府ガ戰鬪中ノ一事件トシテ俘虜トナリタル正服着用ノ米國軍人ヲ冷血ニモ殺害スルガ如キ野蠻行爲ト卑劣ノ表白ニ迄墜落セルモノトセハ米國政府ハ右行爲ニ參加セル日本政府ノ一切ノ關係官吏ヲ個人トシテ及官吏

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

トシテ前記計畫的犯罪ニ付責任アル者トシテ適宜法ニ照シテ處斷スヘシ

米國政府ハ日本政府ノ米國人俘虜ニ關スル其ノ約束ノ他ノ如何ナル違反ニ付テモ若ハ米國人俘虜ニ對スル文明國ニ依リ承認セラレ且實施セラレ居ル戦時法規違反ニ依ル米人俘虜ニ與ヘラルル他ノ如何ナル犯罪的暴行ニ付テモ現在進行中ノ戰鬪行爲ガ假借ナキ且必然的ナル終末ニ到ルニ際シ斯ノ如キ非文明且非人道的行爲ニ付責任アル日本政府官吏ニ對シ其ノ當然受クヘキ刑罰ヲ以テ臨ムヘキ旨茲ニ嚴肅ニ日本政府ニ對シ警告スルモノナリ

米國人飛行士ガ日本政府ニ於テ非アリトセル諸種ノ行爲ヲ認メタリトノ日本政府ノ主張ニ對シテハ日本政府官憲カ其ノ權内ニ在ル者ヨリ其ノ所謂自供ヲ強制スル爲ニ殘忍ニシテ獸的ナル方法ヲ用ヒタル多數ノ實例知ラレ居レリ右政府官憲ニ於テハ之等犧牲者ニ判スル訴訟手續ニ際シ拷問ニ依リテ得ラレタル陳述又ハ陳述ト稱

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

スルモノヲ使用スルコトハ常例ノコトナリ

若シ日本政府ノ主張スル自白ガ米國人飛行士ニ依リ事實上行ハレタリトセハ右ハ強制ニ依リ作爲セラレタルモノニ外ナラス

加之日本政府ハ米國政府トノ取極ニ依リ壽府俘虜條約ノ條項ヲ遵守スルノ嚴肅ナル義務ヲ負ヒ居ルモノニシテ同條約第一條ハ海戰又ハ空戰ニ於テ捕ヘラレタル戰鬪員其他ノ人員ヲ俘虜トシテ取扱フヘキ旨ヲ規定シ第六十條ハ俘虜ニ對スル裁判手續ノ開始ニ際シ利益保護國代表ハ裁判ノ少クモ二週間前ニ右ニ關スル通告並ニ裁判セラルヘキ俘虜ノ姓名及訴追事項ニ關スル通告ヲ受クヘキ旨ヲ規定シ第六十一條ハ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

八、昭和十八年三月十五日附在京瑞西國公使往翰

右來翰ニ對シ二月十七日附往翰ニ依ル帝國政府ノ回答ニ記述シタル人員ハ俘虜トシテ取扱ハレサルニ付帝國政府ハ其ノ姓名及受ケタル刑ヲ通報シ又ハ同人等ニ對シ訪問ヲ許可スルノ意嚮ヲ有セサル旨情報トシテ通報スル旨回答

九、昭和十八年四月二十二日在京瑞西國公使來翰（譯文）

米國政府ハ日本官憲ガ軍事行動ノ故ヲ以テ米人俘虜ヲ軍事裁判所ニ於テ裁判シ死刑ニ迄及フ厳刑ニ處セントスルノ意嚮アル旨ノ日本放送局放送ノ報道ノ眞否ニ付米國政府ノ爲ニ在京瑞西國公使ノ爲シタル照會ニ對シ昭和十八年二月十七日附ヲ以テ同公使ニ對シ日本政府ノ爲シタル回答ヲ受領セリ

日本政府ニ於テハ客年四月十八日日本ヲ空襲セル後日本ノ手中ニ歸シタル米國飛行機搭乗員ヲ裁判シタルコト及右搭乗員ニ對シ死刑ガ宣告セラレタルガ其ノ大部分ノ者ニ對スル裁刑ノ結果死刑ハ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

一部ノ被告ニ適用セラレタル旨述ヘタリ

次テ米國政府ハ日本政府ガ殘餘ノ米國人飛行士ヲ俘虜トシテ取扱フコト、其姓名及彼等ニ對シ如何ナル判決ガ宣告セラレタリヤヲ述フルコト又米國利益保護國代表トシテノ瑞西公使ガ之ニ訪問、許可ヲ爲スコトヲ拒絶スル旨ノ通報ヲ受領セリ日本政府ハ米國人飛行士ガ故意ニ非軍事施設ヲ爆擊シ、故ニ市民ニ對シ銃擊ヲ加ヘ且右飛行士ガ前記ノ行爲ヲ認メタルニ因リ右ノ取扱ヲ爲シタル旨主張セリ

米國政府ハ日本政府ニ對シ米國軍ハ常ニ其ノ攻擊ヲ軍事目標ニ向クル樣訓令ヲ受ケ居ル旨通報ス日本攻擊ニ參加セル米國軍部隊モ右ノ如キ訓令ヲ受ケ居リタルモノニシテ右部隊ガ右ノ訓令ヨリ逸脫セサリシコト判明シ居レリ米國政府ハ米國人飛行士ガ何處カニ於テ故意ニ戰鬪員ヲ攻擊セリトノ非難ハ虛僞ナリト斷言スル次第ナリ

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

十

昭和十八年九月八日附在京瑞西國公使館發口上書（譯文）

米國政府ハ客年十月發表セラレタル同國電報ニ依リ一九四二年四月ノ東京空襲ニ參加シタル飛行士ノ中ノ左記八名ハ當時裁判ヲ受クル迄日本ニ於テ禁錮セラレ居リタルコトヲ知リタリ

陸軍中尉「ロバート、ジエー、ミダー」（）
「ヂエーズ、ジエー、ニールスン」（）
「ウイリアム、ジエー、アラウ」（）
「ロバート、エル、ハイト」（）
「ジヨージ、パー」（）
「ドーン、エドワード、ホールマーク」（別名「ホルホーク」）
及軍曹
「ジヤコブ、デイー、ドシエーシヤ」（）
「ハロルド、エー、スバツツ」（）

右ノ者ノ中數名ノ者ハ以前ハ上海ニ抑留セラレ居リタルモノヽ如シ米國政府ハ彼等ガ目下何處ニ在ルヤヲ承知シ度シ

（爾後同趣旨ノ口上數通アルモ之ヲ省略ス）

（我方之ニ回答セス）

国立公文書館 アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp